

平成27年度 指定管理者年度総合評価表
(平成27年4月～平成28年3月実施分)

作成日	平成28年 6月 8日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市根城コミュニティセンター		
所在地	八戸市売市四丁目7番6号		
施設概要	設置目的：地域住民の連帯と自治意識の向上を目的に、地域活動の拠点として設置 建物構造：鉄筋コンクリート造2階建 延床面積496.32㎡ 大ホール・会議室等		
指定管理者	名称	八戸市根城コミュニティセンター管理運営委員会	
	代表者	委員長 立花 勇	
	所在地	八戸市根城九丁目10-4	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日		
指定管理者の業務	(1) 会館の利用に関する業務 (2) 会館の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他、市長が必要と認める業務		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 指導監査グループ		
	電話	0178-43-9294 (直通)	
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none">平成26年度から実施した実費徴収金の見直しと経費節減の結果、収支が改善した。施設内外の環境美化や安全対策に力を入れ、誰もが快適に利用できる施設の運営に努めた。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none">近隣の公民館等の協力を得る等広報を強化し、利用者を増やす取り組みを継続する。経費節減の徹底により更なる収支の見直しに努める。避難訓練の回数を増やす等、指定避難所としての地域と連携強化した活動を充実させる。

■市(所管課)の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none">施設の設置目的を踏まえ、関係法令等を遵守し、適正な施設の管理・運営が行われている。清掃が行き届いており、利用者の安全かつ快適な施設環境の確保に努めている。地域住民の交流の場として、自主事業(文化祭等)を開催する等、地域のコミュニティ活動の拠点としての役割を果たしている。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	利用者のニーズに合わせて開館時間を延長し、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	◎	職員が常駐するなど、必要な人員を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外。
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外。
緊急事態への対応	○	緊急時の連絡先を掲示するなど、事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）が出来ていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	年度事業計画書、年度収支計画書、四半期業務報告書、年度事業報告書等が提出期限内に適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	届出の必要な事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が適切に行われていた。 (使用制限、入場拒否等の事例はなし。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	利用するクラブの解散等により、利用人数は前年を下回ったが、快適に利用できるよう清掃や管理業務が徹底され、地域の交流の場として利用されていた。 平成 25 年度実績 1,753 件 26,800 人 平成 26 年度実績 1,887 件 26,039 人 平成 27 年度実績 2,012 件 24,771 人
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	職員を常駐させることにより、利用者からの要望等に迅速に対応していた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、指定管理者が徴収する実費徴収金等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	苦情・要望等を随時聞き取り、運営管理に反映させるよう努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	利用申請の際に利用方法を周知するなど適切に実施されていた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱設置の他、苦情・要望等を随時口頭で受付する体制が整備されていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電や節水を貼紙等で積極的に呼びかけ、環境への配慮を適切に行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	施設や設備、備品等について随時点検を実施した。

2 定期モニタリング

定期報告状況	実施状況
	四半期業務報告書や年間事業報告書等が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	4回	5月20日	GL、担当	管理運営状況実地調査
		7月22日	GL、担当	修繕箇所検査（FFストープ）
		3月4日	担当	備品検査（会議用テーブル）
		3月16日	GL、担当	修繕箇所検査（トイレフラッシュ）
実施結果				
設備及び備品の管理が適正に行われていること、また施設に異常がないことを確認した。				

※GL：グループリーダー